

中学3年生からの手紙

クラブをこの時期になって辞めてしまいました。まあ、今までもいろいろあって何回も辞めそうになりながらもがんばってたんやけど……。ほんまいろいろあって、先生が続けたいやつは髪の毛を（耳が出るくらいのショート）切ってこいみたいなことを言って、で、何かバレーとかクラブの価値観とか微妙にうちだけズレてて、それができへんやつは辞めろってなって、んで辞めちゃった。あと2ヶ月ぐらいやったんやけどさあーしかもレギュラーなったばかり（しかもアタッカーやで☆）やったのに……。でもどうしてもそこだけは我慢できなかった。…………

6月4日の朝、東京行きひかり号のなかで……。髪の毛が長ければ、確かにネットタッチしやすい。が、それだけの理由なら……。髪をくくればいいわけだ。……。この中学校のハンドボールは、今年府下1位。バレーボールは、ハンドについて厳しい(?)クラブらしい。

青一色の埼玉スタジアム！私だけが黄色いポロシャツ（赤ではなかったが）。向かいのバックスタンドのサポーターは、手に手に日の丸を持って「日本・・・日本・・・」。「サッカーの旗」日の丸。「サッカーの歌」君が代。……。今日は、皇太子も来てるんだったな～。日本の勝利を願って応援することが、いつの間にか皇太子に旗を振っている!?がごとくに演出されているではないか!!

小泉首相、靖国神社「参拝」前倒し！に抗議の声をあげた韓国。ワールドカップが始まるや、共催国としての友好の陰に隠れてしまった抗議の声……。小泉首相の作戦勝ちか!?!…………しかし、ワールドカップで、本当に友好が深まった！

日本の決勝T進出を心から祝福してくれた韓国のひとびと。学校教育で「戦前・戦中の被侵略の歴史」を学んでいる国民からの祝福である。ワールドカップがもたらした「ナショナリズム」の高揚も……。日本と韓国とでは、少し事情が違うようにも感じるが!?

12番目の選手=サポーターの「ナショナリズム」的高揚が、両国チームを押し上げているのも事実である。

楽器を演奏しながら道路を駅に向けて行進するアルジェリアのサポーターの姿がTVに映し出された。…………アルジェリアは応援も虚しく(?)敗れ、予選通過はできなかった。しかし、一生懸命応援していた彼らの表情は明るく、選手の健闘をたたえるだけで、不満や怒りを表すことはなかった。コンビニ弁当の味に舌鼓をうつなど、異文化をユーモラスに吸収している様子に、国際交流の素晴らしさを感じた。彼らにとっては、FIFAワールドカップは本当に平和の祭典なんだなあと、思った。

外国選手と合宿地の人々との交流の様子や各国のサポーターの応援風景を見ていると、オリンピックにはない素晴らしさがあるように思う。こんなニュース情報を子どもたちと話し合うのも楽しいものである。ベッカム人気には、かなわない！「頭髪の国際化」も加速しそうである！

決勝Tにまで進出した日本イレブンに拍手を、BEST4（22日現在）に勝ち残った韓国チームにはおめでとう!!を贈りたい。